

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 3 年 2 月 9 日



豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日



2020.7~2021.6

会 長 岩本洋子
副 会 長 小川佳伸
幹 事 宮田幹二
雑誌・広報・会報委員長 吉川秀樹

2020~21 年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーケ
(ロータリーは機会の扉を開く)

本日 (2 月 9 日) のプログラム



「機械式時計」

卓話担当：小川佳伸

次回 (3 月 2 日) のプログラム

「慢性期病院の紹介」

卓話担当：松本 悟



☆会長の時間☆

「コロナ禍のエンタメ事情」

2020-21 年度 会長 岩本洋子

昨年秋に宝塚ホテルが新築されました。古い宝塚ホテルは宝塚南口にあったのですが、新しい宝塚ホテルは宝塚本駅、宝塚大劇場の隣に新築されました。

今日はその新しい宝塚ホテルで、「開業記念イベント」として元宝塚のトップスター 4 人がディナーショーをするというので、私も行ってこようと思って、去年から楽しみにしておりました。コロナの緊急事態宣言が出ましたので、うわ！中止か？と思ったのですが、去年の 4 月と違って、今日は実行されるのですが、、、「ディナーがない」のです。300 人とか 400 人とかいう人が集まりますので、飲食の提供は具合が悪いとのことで、急遽、食事なし、ショーだけの「ディナーショー」となり、3 万円のうち 1 万 2000 円が返金されました。

このようにコロナ禍でエンターテインメント業界は本当に苦労しています。京都南座の顔見世と 1 月の松竹座の坂東玉三郎の公演に行きましたが、一人おきに座りますから入場者は半分です。宝塚歌劇にも毎月行きますが、最前列一列を空けて、立見をなくしています。楽屋への立入は禁止、出演者との会食は禁止と、厳しい接触禁止の指示が出ています。

こんなエンタメを応援しようと、私はあっちこちに「出没」しています。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2910回	第2907回
例会日	2月2日	1月9日
① 会員数 A	38	38
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	30	30
③ 出席義務者出席数	23	13
④ 出席免除者出席数	5	2
⑤ メイクアップ数		7
⑥ 出席義務者欠席数	7	17
出席率 %	80.00%	68.75%

出席率 (2910回) ③+④/②+④ 出席率 (2907回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

- ・一般社団法人ロータリーの友事務所より
「ロータリー手帳の予約受付」が届きました。
- ・国際ロータリー第 2660 地区より
「武枝会員に次年度地区職業奉仕委員の委任状」が届きました。
「2021年決議審議会決議案提出について」が届きました。
「2020-21 年度ガバナー月信 2月号」が届きました。
「2021-22 年度 RI 会長テーマが発表されました。」
「2月のロータリーレートは、1ドル=104円です。」

掲示板

- ・第3回被選理事会
日 時：2021年2月9日(火) 本日
場 所：ホテルアイボリー 例会場前

※2月16日(火)は定款により休会となります。

- ・R財団創立記念日
2月23日(火)はR財団創立記念日です。
- ・第9回定例理事会
日 時：2021年3月2日(火)
場 所：ホテルアイボリー 例会場前
- ・第2回ガバナー補佐訪問
日 時：2021年3月9日(火)
場 所：ホテルアイボリー 例会場
ガバナー補佐訪問終了後、クラブ協議会がごぞいます。
- ・PETS
日 時：2021年3月13日(土)
場 所：大阪国際会議場
※12:30からWeb開催の予定です。

※3月27日(土)のIM第1組を含む全ての組のロータリーリーダーは中止になりました。

- ・社会奉仕フォーラム
日 時：2021年3月30日(火) 例会終了後

場

2月2日のゲストとビジター

- ・豊中 RC 奨学生 Li Jiyao さん

2月2日のニコニコ箱報告

- ・皆出席祝いを頂いて 松山会員
- ・誕生日祝いを頂いて 木村、松山各会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて 矢口、福盛、宮田各会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 武枝、都井各会員
- ・小川会員にお世話になりました。豊島会員
- ・吉川会員にお世話になりました。小牧会員
- ・写真を頂いて 小牧会員

LiJiyaoさんの奨学金の一年間延長について

LiJiyaoさんより豊中 RC 奨学金1年延長のお願いがあり、1月度理事会にて審議の結果、1年延長を認めることが承認されました。この結果に対し指導教授の狩野裕会員から謝意が寄せられています。(以下文章)

大変なご配慮、ありがとうございました。心より御礼を申し上げます。彼女は文科系の修士課程を修了し理工系の博士課程にやって来たこともあり catch-up に時間がかかりました。次年度一年間で修了するべく最大限の指導をいたしますので引き続きよろしくお願ひいたします。理事の先生方にも宜しくお伝え下さい。
指導教授：狩野 裕

宮田会員からの寄付の件

宮田会員から、豊中 RC の奨学生基金へ24万円の寄付の申し込みがあり、2月度理事会において承認されましたことをご報告いたします。現在豊中 RC の奨学生の奨学金は月額5万円ですが、宮田会員からのご寄付の24万円により、2月から1年間、一人6万円とすることが決議されました。

以上、皆様にお知らせいたします。
会長：岩本洋子

副幹事・副SAA当番

- 3月副幹事 松本拓郎会員
- 3月副SAA 横田広司会員

3月受付当番

- チーフ：米田 眞会員
- 3月2日 矢野 昭会員、平野和枝会員
- 3月9日 眞下 節会員、松本 悟会員

「信託銀行とサステナビリティ」



卓話担当：南原 淳

信託銀行には社会の持続的成長への貢献活動として融資や信託の器を利用したいわば本来の業務による活動がありますが、本日はこういった本業とは別に「奉仕活動」としてどのような活動をしているのかをご紹介します。

当社の源流の一つであります三井信託銀行の初代社長はかの米山梅吉さんですが米山翁は三井銀行の常務時代に数度にわたる訪米をし「ロータリーの奉仕という理念」に強く共鳴し1920年に東京ロータリークラブの創立に貢献され初代会長に就任し以降ロータリアンとして歩まれます。

一方経営者としては、同じく訪米の際に「信託業務による財産管理」に感銘し三井銀行を辞した後、1924年に三井信託銀行を設立し初代社長に就任します。新会社の定款に「奉仕と開拓の精神」を明記しましたが、以後98年経過し会社は合併を繰り返しましたが、現在の三井住友トラストグループの「6つの行動規範」のひとつに「社会への貢献—奉仕開拓—」として引き継がれています。

こういった経緯もあり当社は奉仕に対する意識が従来より高く、営業店の目標の中で計数的な目標以外にCSR活動も目標として付与される等奉仕に対する意識が高い会社となっております。

さて、本題の当社の奉仕活動のご紹介ですが93拠点あります営業店と本部の活動に分かれます。各活動はwith you活動としてブログに掲載されておりますがその中から二つの営業店の活動をご紹介します。一つ目は愛知県の一宮支店によるイタセンパラの保護活動です。イタセンパラはタナゴの一種で近い将来絶滅の可能性が極めて高いというレッドリストのIAというカテゴリーに入っている魚です。

活動としてはまず支店全員で保護活動に参加、ついで地元の高校へ木曾川流域の生態系維持やイタセンパラ保護の出前授業を行い、その高校生と一緒に駅前や各所での啓蒙活動等様々な取り組みを行った結果、環境省から民間企業初となる展示飼育をスタートすることを認可されました。

同じような活動は八尾支店もバラタナゴというこれもタナゴの一種で保護活動を行っておりこちらも展示飼育に至っています。

苦労話としては、活動を認められ展示飼育まで至ったのですが、展示飼育となると生き物ですから水槽の清掃、エサやりなどが当然発生します。しかしながら水槽の清掃や休日のエサやりは相応の負担もあり店の職員で担い手を確保することが簡単ではないようです。

3、4年で当初の熱意を持ったメンバーも入れ替わってしまう銀行組織では継続も一苦労です。

次に神戸支店を中心とする兵庫県の5つの店によるヴォーリス六甲山荘の維持活動です。

この山荘は神戸女学院や関西学院の校舎を建築設計したヴォーリスが、神戸の資産家の為に作った六甲山上の別荘です。現在は所有者も変わり国有形文化財に指定されNPO法人がナショナルトラスト方式で保存しております。ただ、山の上だけあり湿気が多くすぐに傷んでしまいますので定期的に枯葉の清掃が必要で毎年3月9日に30人規模のメンバーで枯葉掃除、植栽変更等を行っております。

これも苦勞がありました。屋根の上の清掃作業については危険な事態もありそれを理由に一旦作業内容から除外されそうになりましたが紆余曲折の上、身の軽い職員が滑らない長靴をはき作業し、職員の落下防止策を色々考えて講じたり、と地味な方法で苦勞しながら続けております。

次は本部の活動ですが、ナショナルトラスト活動の支援に力を入れており、手法としては、当社による当該基金への寄付や寄付の仕組みづくり、あるいは顧客の遺言作成事の寄付先としてのナショナルトラストのご案内といった形で20カ所のナショナルトラストを支援しております。

実際に1万円の寄付金で保存団体が購入できる土地は例えば釧路湿原周辺の森であれば600㎡となっております。まとまった資金があればそれなりの面積が買えますので更なる広がりを目指しつつ活動しております。

また、人生100年時代と言われる超高齢化社会を迎えた日本では健康維持や痴呆対策あるいは死を迎えるにあたっての心構え等への関心や必要性がさらに高まっております。当社では「シルバーカレッジ」を開催し、認知症対策の専門家の話や大徳寺大仙院の住職から死を迎えるにあたっての話を聞くといった数回形式の“カレッジ”式セミナー運営を行っています。

他にも関連会社のダイナースでは食文化応援の一環として現在日本酒をテーマに活動しています。日本酒業界は40年ほど前は3000もの蔵があったのですが今では1500蔵と減少しています。十数年前に獺祭が有名になり一部の人気銘柄中心に歯止めはかかりましたがやはり減少は進んでいる。これに対して、日本酒の裾野を広げるような銘酒を醸す蔵元を奨励し日本酒の減少に歯止めをかけようとしており、日本酒品評会「SAKE COMPETITION」で「ダイナースクラブ若手奨励賞」を新設し盛り立てております。

最後に申し上げたいのは、温暖化対策等社会的課題へのインパクトの大きさという観点であれば銀行の本業である融資を使って温暖化対策企業への低金利融資や投資を行うほうがはるかに効果的です。ではご紹介したような営業店ベースのささやかな奉仕は必要ないかと言われれば、それは別種のものであり必要であると思います。

個人的には、より多くの方が、自分のできる範囲で自分の出来ることをささやかであっても継続していくということが、その方々の視野を広げる、あるいは新しい社会奉仕へのきっかけになると思いますのでそれを目指して継続していきたいと思っております。